

県央地域において不足する外来医療機能について（案）

1. アンケート結果のまとめ

委員数 23 人

不足感の程度	初期救急医療	在宅医療	公衆衛生			介護認定審査
			産業医	学校医	予防接種医	
◎	4人 (17.4%)	8人 (34.8%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	1人 (4.3%)
○	11人 (47.8%)	5人 (21.7%)	4人 (17.4%)	5人 (21.7%)	0人 (0.0%)	5人 (21.7%)
△	2人 (8.7%)	3人 (13.0%)	3人 (13.0%)	4人 (17.4%)	5人 (21.7%)	4人 (17.4%)
×	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	3人 (13.0%)	4人 (17.4%)	7人 (30.4%)	6人 (26.1%)
—	6人 (26.1%)	7人 (30.4%)	13人 (56.5%)	10人 (43.5%)	11人 (47.8%)	7人 (30.4%)

※回答の目安 ◎：とても不足していると感じる ○：やや不足していると感じる
 △：あまり不足していると感じない ×：不足していると感じない
 —：無回答・わからない

2. アンケートで寄せられた主な意見

【初期救急医療】

（北足立地区）

- ・土曜の午後及び夜間、日曜の夜間の時間帯が不足している。
- ・一次救急としては平日の準夜帯の夜間診療に不足感がある。
- ・地域の医師の協力のもと、病院としてできる限りの協力をしているところであるが、症状により受入が難しいことも多くなっている。小児救急などの対応が充実することを望む。
- ・初期救急の周知が不徹底の場合に、軽症であっても第二次救急医療機関を受診する患者の増加に繋がるため、適正受診の周知啓発について改善の余地がある。

（上尾地区）

- ・土曜日が空白になっている小児救急が特に不足している。

（全 域）

- ・上尾市外からの救急搬送を多く受け入れている。他院にてかかりつけの患者の受け入れが多い。
- ・休日夜間輪番体制の確立の必要性を感じる。

【在宅医療】

（北足立地区）

- ・訪問医療専門の医院が増加しているが、既存の開業医がもっと積極的に訪問してほしい。

- ・専門的な診療内容を必要とする際に担当する医師が少ない。
- ・吹上地区においては5か所の訪問看護ステーションがあるが、在宅医療に携わる医師の不足があり、病院から在宅へと連携ができにくい状況にある。
- ・特に鴻巣市においては在宅医療を行う開業医の数が少ないと感じる。
- ・高齢者一人一人の状態に応じた医療・介護サービスを効果的に提供するため、地域包括ケアシステムの整備・充実が重要である。増大する慢性期の医療ニーズを見据えたとき、地域包括ケアシステムの中で不可欠な要素である在宅医療は、現在のところ未だ充足しているとは言えない状況と認識している。
- ・鴻巣市内医療機関のうち往診を実施しているのは全体の3分の1ほどあるが、24時間往診可能な医療機関は全体の1割に留まっている。診療所を中心とした組織では、24時間対応、急変時の対応及び看取りを行うための体制を全て構築することは大変困難なものと推察されるが、往診や訪問看護の対応が可能な連携体制は、今後さらに求められていくものと考えている。

(上尾地区)

- ・在宅医療を専門として行っている医療機関が少ない。
- ・ケアマネージャや家族からの依頼が増加している。

(全 域)

- ・個人経営の医院がほとんどであり、在宅医療まで手が回らない現状がある。
- ・精神科に係る在宅医療について、年齢調整標準化レセプト出現比（SCR）を見てみると、県央医療圏における在宅精神療法の値が著しく低値を示している。さいたま医療圏の数値が高いことを考慮すると、当該医療圏が県央医療圏をカバーしている可能性があるのではないかと推察される。なお、精神訪問看護指導料を見ると、30分未満で高値を示しており、在宅医療の不足を訪問看護がカバーしているとみることも可能ではないかと推察される。

【公衆衛生（学校医）】

(北足立地区)

- ・耳鼻科医が不足している。
- ・眼科医1名で7校を対応している。

(上尾地区)

- ・専門外、多忙を理由に断る。

(全 域)

- ・最近、辞退する先生が多く、今後が心配である。

【介護認定審査】

(北足立地区)

- ・審査委員になる人を探すのに、やや苦勞する

(上尾地区)

- ・専門外、多忙を理由に断る。
- ・昼間の審査に係る医師の不足が見受けられる。

(全 域)

- ・会議の日数が多く、大変という先生が多く見られる。もう少し審査の簡素化はできないものか。

【その他】

(北足立地区)

- ・眼科、耳鼻科、皮膚科、小児救急が不足している。
- ・周産期医療、小児医療の整備が急務である。
- ・北本には眼科医院が1か所しかない。

3. 計画本文への記載内容

アンケートの回答内容を、郡市医師会の区域単位でとりまとめた上で、以下のとおり計画に記載してはどうか。

計画変更素案 本文 P25

(3) 各区域において不足している外来医療機能

本県では、各区域の協議の場を活用して、区域ごとの外来医療機能の不足感について意見聴取を行いました。

提出された意見に基づき、夜間や休日等における初期救急医療、在宅医療、産業医・学校医・予防接種等の公衆衛生や、介護認定審査に係る医療提供体制の4項目について、区域ごとの状況を取りまとめました。

これらの項目以外の意見については、県ホームページで情報提供します。

オ 県央区域

(北足立地区)

- ・初期救急医療、在宅医療、公衆衛生（学校医）、介護認定審査にやや不足感がある。

(上尾地区)

- ・初期救急医療、在宅医療は不足感が強い。
- ・公衆衛生（産業医、学校医）、介護認定審査にやや不足感がある。